

令和5年4月14日

報道機関各位

2023 エネ環地研 成果発表会を開催します

エネルギー・環境・地質研究所が、昨年度までに取り組んだ研究開発や技術支援の成果を広く皆様に公開し、ご活用いただくため、次のとおり成果発表会を開催いたします。

会場とオンラインの同時開催とし、口頭発表、ポスター発表を行いますので、多くの皆様にご来場いただけますよう、ご案内いたします。

◎ 日 時

・令和5年5月19日（金）10:00～17:20 【開場：9:30】

◎ 会 場

・かでの2・7（札幌市中央区北2条西7丁目） 【オンライン同時開催】

◎ 内 容

・詳細、申し込み方法は別添のチラシをご参照ください。

【報道（取材）に当たってのお願い】

- ・開催に関する事前の報道及び当日の取材について、よろしくお願いいたします。
- ・取材をご希望の場合は、下記の担当者までご連絡ください。

取材申し込み先・お問い合わせ先

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構（道総研）
産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所（エネ環地研）
研究推進室 研究情報グループ（担当者：主査（広報） 羽二生 浩孝）
電話 011-747-2427
Eメール eeg-koho@ml.hro.or.jp



2023 エネ環地研成果発表会

地域資源を守り・活かす多彩な取組を紹介！

エネルギー・環境・地質研究所が、昨年度までに取り組んだ研究開発の成果を広く皆様に公開し、ご活用いただくため、成果発表会を開催いたします（無料）。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 **5月19日（金）** 【開場：9:30】

会場 **かでのる2・7** **オンライン同時開催**

主催 道総研エネルギー・環境・地質研究所

■ 口頭発表：かでのるアスピックホール

■ ポスター発表：展示ホール

【技術相談コーナー】あります

当日会場での技術相談をご希望される方は、当所技術相談窓口（011-747-3525）まで、事前にご連絡ください。

詳細、申込は、当所の Web サイトからお願いします。

申込〆切：5月16日（火）（会場200名・オンライン500名）

URL <https://www.hro.or.jp/eeg.html>



口頭発表プログラム

● 開会あいさつ（10:00～10:05）道総研エネルギー・環境・地質研究所長 大津 直

環境保全部 10:05～11:45

冒頭あいさつ

秋山雅行

特別セッション

★特別セッション：気候変動で北海道の冬の未来は？

雪は、北海道民に時には恵みを、時には災いをもたらし、私たちの暮らしや産業に密接に関係しています。いま、気候変動が北海道の雪を変えつつあります。その対策として、温室効果ガスの排出削減などの「緩和」の取組が求められる一方で、避けられない影響に対処するための「適応」の取組を地域ごとに進めることも重要です。そこで、気候変動による冬や雪の変化が、北海道の生活や農業にどのような影響を与えるのか、また、その変化に対応するための適応策をどのように進めていくかに着目し、研究を行いました。本セッションではこの研究成果を報告し、北海道における気候変動への適応について考えます。

- ・趣旨説明と未来の天気予報 2100 冬 野口 泉
- ・北海道の冬・雪の変化と生活への影響 鈴木啓明
- ・農業はどう変わる？ 井上 聡（農業・食品産業技術総合研究機構）
- ・未来の北海道からの環境・適応メッセージ 大場 真（東北工業大学）
- ・気候変動適応に関する北海道の取組について
..... 菱沼貴志（北海道 環境生活部 ゼロカーボン推進局 気候変動対策課）



地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所

お問合せ：研究推進室 研究情報グループ TEL 011-747-2427 FAX 011-737-9071 Email eeg-moushikomi@ml.hro.or.jp

資源エネルギー部 13:00 ~ 14:00

- ・地熱資源をターゲットとした効果的・効率的な電磁探査手法 - 屈斜路カルデラ南東域 岡 大輔
- ・地下水熱を使った高効率ヒートポンプシステム - ロイズタウン駅前融雪への実装 白土博康
- ・理論と実験による自己熱再生技術の実装可能性評価 富樫憲一

循環資源部 14:00 ~ 15:00

- ・電気分解で排水処理をカンタンに - 電気分解法による排水の酸化処理技術 佐々木雄真
- ・北海道の汚泥って減らせるの? - 行政データから「減らしどころ」を探してみました 丹羽 忍
- ・太陽光パネルの終活、これからどうする? - 発電事業者へのアンケートの結果からわかってきたこと 福田陽一朗

地域地質部 15:15 ~ 16:15

- ・豪雨による緩斜面災害を軽減するために - 周氷河斜面調査の意義 石丸 聡
- ・豪雨による緩斜面災害を軽減するために - 周氷河斜面調査マニュアルの概要 仁科健二
- ・遺跡発掘資料から千島海溝周辺の地震履歴を探る 廣瀬 亘

自然環境部 16:15 ~ 17:15

- ・劣化した海浜植物群落は表土の掘り取りにより再生するか? 綱本良啓
- ・どこまで減らせるアライグマ? - 3年間の集中捕獲事業から見たこと 山口沙耶
- ・自動撮影カメラを用いたヒグマの肥満度評価 - 農作物はヒグマの肥満を加速させるのか? 白根ゆり

● 閉会あいさつ (17:15 ~) 道総研エネルギー・環境・地質研究所副所長 竹花 英彰

ポスター発表プログラム (展示時間 9:30 ~ 17:00)

説明時間：13:00 ~ 14:00

- ・気候変動に伴う変化をピンポイントで予測する
- 河川水濁度の将来変化予測 濱原和広
- ・水質と流域の視点から見る湖沼環境の^{いま}現在
- 北海道湖沼誌の刊行に向けて 長谷川祥樹
- ・生体分子を使って環境保全
- 遺伝子工学技術の活用に向けて 田原るり子
- ・効率的な地盤変状観測を目指して
- 宇宙からみた壮瞥町東部地域地すべりの地盤変状 宇佐見星弥
- ・高品質ボーリングコアをもちいた周氷河堆積物の
詳細な記載方法 小安浩理
- ・音を使って海底を視る
- 北洋丸最新鋭音波探査装置による漁場環境の見える化
..... 丸山純也

説明時間：14:00 ~ 15:00

- ・ヒグマは種子散布者として生態系の維持に役立っているのか?
..... 綱本良啓
- ・シカ密度と人為攪乱(伐採・窒素降下)は林床植物の多様性をどう変えるか? - 大規模・長期の操作実験による検証 日野貴文
- ・湿原から花がなくなる!?
- エゾシカの影響を減らすために 島村崇志

説明時間：15:00 ~ 16:00

- ・温泉とともに湧出する可燃性天然ガスの活用に向けて
..... 林 圭一
- ・当別町太美地区の帯水層の特徴
- 採熱井の坑井地質と物理検層、および地下水の化学組成に基づく考察
..... 鈴木隆広
- ・蒸気排熱をためて、必要なときに使う!
- 蓄熱システムの研究開発 藤澤拓己
- ・捨てられる農林残渣の新しい方法での利活用に向けた
基礎的な研究 小倉貴仁
- ・エネルギー需給の最適制御に向けて
- 制御ロジックの設計と実装 多奈田紘希
- ・バーチャルマイクログリッドを用いたリユース蓄電池の
活用法の提案 林田 淳
- ・蒸発や凝縮を伴う流れの状態把握手法の提案 富樫憲一

説明時間：16:00 ~ 17:00

- ・いろいろなガラスのリサイクル技術開発 稲野浩行
- ・私たちが捨てたプラスチックはどう処理される?
- 道内の一般廃棄物に由来するプラスチックの処理フローの推計
..... 朝倉 賢
- ・廃棄物保管の現場を空から把握します
- ドローンの活用による廃棄物保管状況のデジタルデータ化 山口勝透
- ・電気分解で排水処理をカンタンに
- 小規模事業場向け排水処理への適用に向けて 鎌田樹志